

「一つ一つの経験を大切に」

2022/3/9
延岡

卷之三

延岡市の南中学校
(一宮正志校長、46
歳)で4口、立憲の
つどいが開かれた。大
人への成長の変り目

る。勉強を頑張りながら職業への理解を深めたい。

した薬師師匠やりがこを感した。國家試験は狹き門だが頑張りた「」とおおそれの原ふを語った。

國の「高い山」
と題した講話もいた。
月川さんは田舎の経
験を交えながら進路計
画や自己理解の大切さ
について語る。「田舎の選

にあゆる2年生（14歳）
1608人が儀式に臨み、将来への決意を新たにした。

係の仕事に就き、「父が言つた野菜や果物をたくさん的人に食べてもらひたい」。

1級を持ち、キャリア
コンサルタントとして
求職者を支援する細
真由美さん（みやめみ

などは、一方で、10年後には必ず何かの役に立つ。10年後の自分に笑われないよう、一つ一つの経験を大切に

学生は心も体も大きい
変わる時期。悩み苦
むことも多いと思いま
が、すべてを成長の糧
にして立派な大人に

（つま）さんは「勉強
などの会話を通して、
コミュニケーション
などの人間性を身に
めた」。

若者サポートステーションサテライト延
ショーンサテライト延

「おまえの手紙を送った。」

「うそだよ。」
「うそだよ。」
「うそだよ。」
「うそだよ。」

4歳の夏休みから今
では「父と団じ保傳
音楽團を出発し、陸
軍技を修業しながら
いき人の樂へ方と處
して。

ら)さんは「子ども
関わる仕事に興味が

は「小学生の時に本組の田嶋義

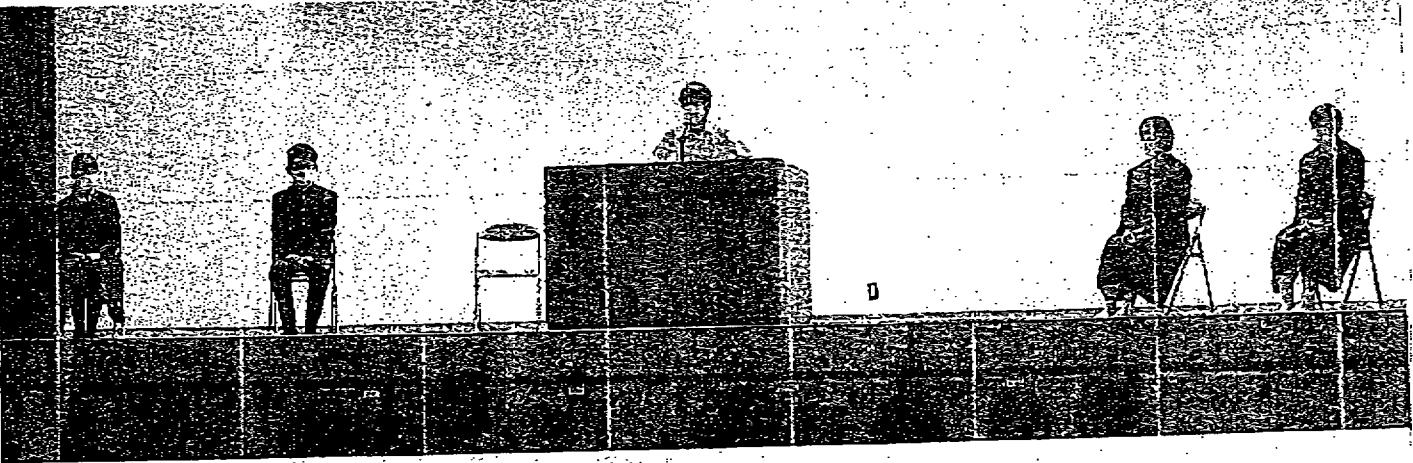
100

100

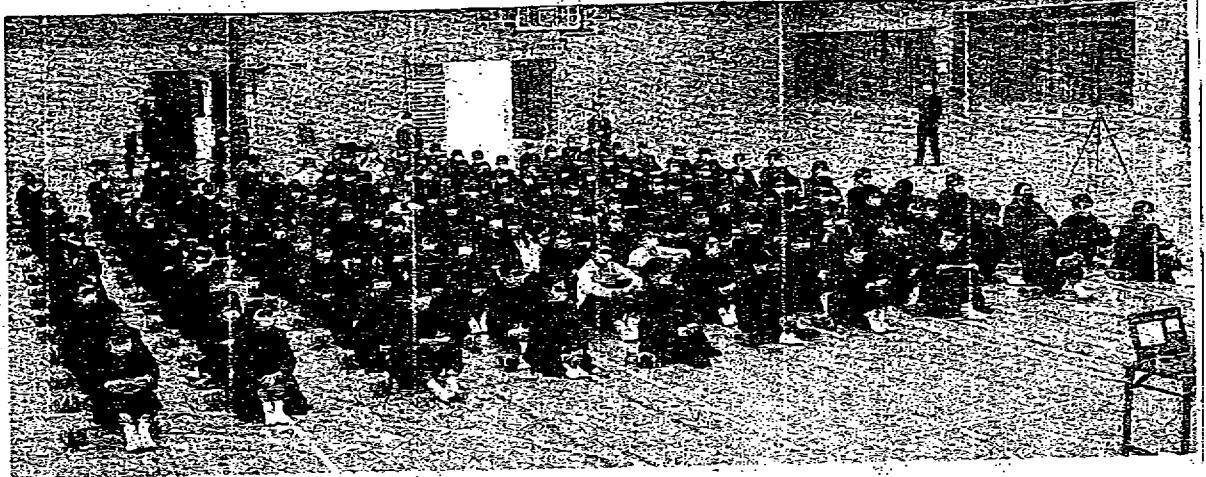
A black and white portrait of a man with short hair, wearing a dark suit jacket over a light-colored shirt and a dark tie. He is looking slightly to his left. The background is dark and textured.

A small, rectangular white label is attached to the left side of a dark vertical surface. The label contains handwritten text that is mostly illegible but includes "1000" and "100".

新義に歸る御内閣の代表者たち



講話した細川さん(右)と、グルーフワークの
答えを発表する生徒



南中で開かれた立志のつどい